

● 傾斜許容角度

相手機械との関係から傾斜してすえつける場合は、表11の角度まで使用できます。

この角度をこえて取りつける場合は、ご注文の前にご相談ください。

表11 傾斜許容角度

傾斜
の
状態

(1) 軸端下り

(2) 軸端上り

(3) オイルゲージ側下り

(4) オイルゲージ側上り

油面

傾斜すえつけ時、運転中において油面がオイルゲージ指示線に一致するように注油してください。

停止時、ギヤケースを水平にしてオイルゲージ指示線まで注油してください。
(傾斜角度が大きい場合は油面はオイルゲージにあらわれません)

許
容
角
度
(α°)

減速比	1/10	1/15	1/20	1/30	1/10	1/15	1/20	1/30	1/10	1/15	1/20	1/30	1/10	1/15	1/20	1/30
E6	25°	—	—	3°	3°	—	—	3°	3°	3°	—	—	20°	—	—	—
E7	25°	25°	—	4°	4°	—	—	5°	5°	20°	20°	—	20°	—	—	20°
E9	27°	27°	—	5°	13°	—	—	7°	7°	35°	35°	—	20°	—	—	20°
E10	26°	26°	—	0°	8°	—	—	5°	10°	25°	35°	—	20°	—	—	20°
E11	23°	23°	—	0°	0°	—	—	8°	8°	8°	25°	—	20°	—	—	20°
E12	26°	26°	—	5°	5°	—	—	25°	25°	25°	25°	—	20°	—	—	20°
E14	25°	25°	—	0°	6°	—	—	10°	25°	25°	25°	—	20°	—	—	20°
E15	20°	20°	—	3°	3°	—	—	20°	20°	0°	30°	—	20°	—	—	20°
E17	20°	20°	—	2°	5°	—	—	15°	25°	25°	25°	—	20°	—	—	20°
E18	20°	20°	—	4°	7°	—	—	20°	25°	25°	30°	—	20°	—	—	20°
E21	20°	20°	—	6°	6°	—	—	20°	20°	20°	30°	—	20°	—	—	20°
E23	10°	15°	12°	15°	0°	10°	10°	10°	4°	6°	4°	7°	15°	15°	15°	15°
E25	—	10°	15°	10°	—	3°	3°	10°	—	4°	6°	3°	—	15°	15°	15°
E27	—	—	—	12°	—	—	—	10°	—	—	—	4°	—	—	—	15°

10～15°

5～10°

約 5°

約 15°

- (注) 1. 上表の角度をこえて傾斜すえつけを行ないますと、(1)の場合は低速軸軸端貫通部から、(2)(3)(4)の場合はモータコイル側へ油もれを生じます。いずれの場合も内部歯車、軸受の潤滑に支障をきたし大きな事故の原因となります。とくにモータコイル側への多量の油もれはモータを焼損させます。
2. E6～E21の場合は、油量を変えることにより、さらに大きな角度まで使用できます。
3. E26～E41は大略の値を示したものです。

潤滑油について

ギヤードモータは、すべて潤滑油を抜いて納入していますので、ご使用の際は必ず銘板の指示にしたがって、注油および油の交換を行なってください。グリースはあらかじめ必要量を充てんしてありますので、とくに長期間放置した後でご使用のとき以外は改めて注入する必要はありません。

表12 油量表

ユニットサイズ		E6・E6S	E7	E9	E10	E11	E12	E14	E15	E17	E18	E21	E23S	E23L	E25S	E25L	E27
油 量 (約ℓ)	EF	1.1	1.5	2.3	3.3	4.6	6.5	9	12	17	22	34	22	32	20	28	24
	EZ																

ユニットサイズ		E26	E31	E33	E36	E41
油 量 (約ℓ)	EF	50	50	70	70	70
	EZ	42	50	63	65	70

●注油

銘板に示した潤滑油を油面が運転中においてオイルゲージの指示線に一致するように注油します。

●交換時期

潤滑油 延2500時間または6か月使用のいずれか早い時期
グリース 1年に1度程度

- (注) 1. E26～E41は減速比により油量が異なります。
2. 油量は各ユニットサイズとも銘板に示してあります。



スイセン潤滑油・グリース
および銘板表参照